

普及技術概要書

ヤイトハタ人工種苗の成長							
[要約] ヤイトハタ人工種苗（平均体重7.8g）を用いて陸上水槽での養殖試験を行ったところ、平均体重は約1年3ヶ月で1.0kgを越え、約2年で1.8kgに達した。							
研究機関	水産試験場八重山支場			連絡先	09808-8-2255		
部会名	水産	専門	養殖	対象	ヤイトハタ	分類	指導

[背景・ねらい]

水産試験場八重山支場では、1996年に初めてヤイトハタの種苗生産に成功した。今後は養殖技術の確立が急務となるため、生産した種苗を用いて養殖試験を行い、本種の養殖特性（成長や餌料効率など）を調べた。

[成果の内容・特徴]

- ①平均体重7.8gのヤイトハタ人工種苗を陸上水槽に収容し、養殖試験を行った。餌はマダイ用EP飼料を使用し、自動給餌機を用いて毎日飽食量与えた。平均体重（図1）は、試験開始1年3ヶ月後に1.0kgを越え、2年後には1.8kgに達した。低水温期には成長が悪くなる傾向がみられた。
- ②平均体重が1.0kgに達するまでの日間給餌率は0.54%、増肉係数は1:25であった。また、試験期間を通しての日間給餌率は0.67%、増肉係数は2.47であった（表1）。
- ③飼育時期や給餌方法（餌の種類や給餌回数）が異なり、水温や給餌量、生残率等の飼育データもないため、陸上水槽との比較は一概にはできないが、好事例として海面網生簀（石垣市登野城）で飼育したヤイトハタの成長を表2に示した。平均体重は、4月～11月までの7ヶ月間で237.3gから1,466gに達している。

[成果の活用面・留意点]

- ①ヤイトハタ養殖において、基礎的なデータとなる。
- ②今後、給餌方法（給餌量、給餌回数）や海面網生簀での飼育について試験を行う必要がある。

[具体的データ]

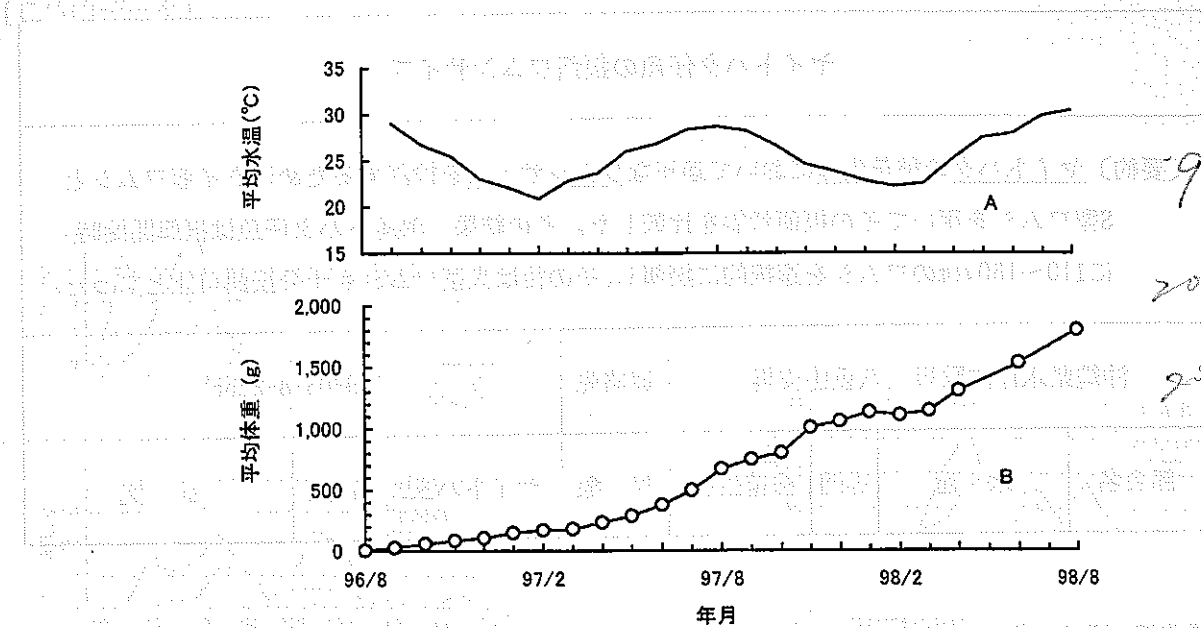


図1. 陸上水槽でのヤイトハタ養殖試験における平均水温(A)と平均体重(B)の変化

表1. 陸上水槽でのヤイトハタ養殖試験データ

	飼育 日数	全長(mm)	体重(g)	給餌量 (kg)	日間 給餌率(%)	日間 成長率(%)	増肉係数	餌料転 換効率
試験開始時(96/8/28)		80.8	7.8					
~ 97/11/22	457	400.2	1,003.8	430.9	0.54	0.43	1.25	0.80
96/8/28 ~ 98/8/28	733	468.0	1,801.6	1,020.5	0.67	0.27	2.47	0.40

表2. 海面網生簀で7ヶ月飼育したヤイトハタの成長

	飼育期間	平均体重(g)の変化	餌	密度(尾/m ²)
海面網生簀	98年4月~98年11月	237.3~1,466	配合飼料+生餌	4.0
陸上水槽	97年4月~97年11月	230.3~1,003.8	配合飼料	5.55

* 飼育期間や飼育方法は異なる。また、飼育データ等もないため一概に比較はできない。

[その他]

研究課題名: 海産魚類増養殖試験

予算区分: 県単

研究期間: 平成10年度(平成8~10年)

研究担当者: 中村博幸、金城清昭、大嶋洋行、仲盛淳、仲本光男

発表論文等: 平成9年度沖縄県水産試験場事業報告書

平成10年度沖縄県水産試験場事業報告書(予定)